

爲換救治策に依りて原
すべし救済の
策に據る方
法に適し
るを採る

らず依て之を履行し將來の傾向を未發に察知するを要す即ち其豫測は現在爲換市場の成行に鑑み又外國各市場よりの報導に照して彼我相對照して之をなすを得べし然り而してかく豫測したるとき又は爲換の現況が逆戻の傾きを有する時には如何にして之を救済すべきや其策蓋し一二にして足らず乞ふ之を次に論せん
爲換救治策には種々ありと雖も要するに其策たる爲換逆戻を來したる原因の如何に依て異なるを以て其原因を探究して之を施さずんば診斷を乞はずして徒に醫藥を服すると同一般勞して益なく却て害を醸する恐あり而して其原因には(一)國際上貸借の不權衡(二)金利の低落(三)貨幣制の紊亂等より生ずるものあるを以て今此等の原因より生せる爲換の逆戻を救済せんには他なし國際上貸借の不權衡即ち負債債權に超過するにより生じたる場合には宜數債權高を増すの方法を講ずく利子の低落よりするものは之を引上ぐべく貨幣制宜しきを得ず紙

輸出獎勵の策

金利引上げの策

幣過發等より生ずる場合には之を矯正確固ならしむる如き即ち是なり然れども到底救治策の根本は國家の債權高の増加を計り而して爲換の權衡を得せしむるの外なし何となれば爲換の不順は畢竟第一國際貸借上の不權衡に基けばなり而して其國家債權高の増加及負債高の減縮は如何にして計るべきやと云ふに先づ貿易上に於て輸出を獎勵し輸入を抑制するに在るは云ふ迄もなければ其輸出高は之を急に變更せしむるを得ざれば此策たる永遠には其効を收むべきも到底急場の間には合はず然らば次の策は如何と云ふに利子歩合の引上げ即ち是なり凡そ一國にて利子の歩合を引上ぐる時は外國の資本家は資本を國內に運轉せしむるより金利騰貴せる國へ運轉するの利多きを以て正貨之に流動し爲換の不順は變じて相場下落となり以て救治の効を奏するを得べし此策は英國の如き屢々施して良結果を顯はしたる所にて現に千八百六十一年英國は米國より多額の棉花及穀類を輸

爲換の順逆及び爲換の救治策

入し大に負債を増し爲めに紐育に於ける英國宛手形の價格を低落せしめ米國に對し大に正金輸送の止むを得ざるに至らしめたる時に當り英國にては金利を引上げしに歐洲諸國よりは争て資金を投入せしかば逆勢忽ち順に復し救治の効を奏したる實例あり然れども利子歩合の引上げが此の如き顯著なる効果を奏するには資本國より投資國へ送る際資本主が其正貨輸送料を負擔し尙之を運轉して後日之を本國へ回收する際の輸送料をも除却して尙相當の利益ある歩合に引上げざるべからず故に此場合に必要なる條件は引上げたる利子の歩合が右述る如く割合よきものか然らざれば資本國は投資國の近きに在りて而して些少の利子の高低を以て外資を吸收するの力なかるべからざれば此策は歐米諸國間の如く互に金融事情明知せられ一國金利の高低は直に他國資本家の注視を促がす間柄にあらざれば其効なし故に現今我邦の如き世界の金融中心を距ると遠く彼我の事情も互に

通せざる間柄にては我邦が金利を引上げたりとて以て歐洲の資本を吸引するが如き事は到底是れあるとなし但し又此他の事情の爲め如何に金利を引上げるも資本の輸入なきとありそは例へば金貨國より銀貨國へ投資する場合の如きは金銀比價の關係もある故之が爲め外資の輸入を妨ぐるとあるが如し現に我邦の如きは近年迄銀貨が通貨として行はれし故金貨國の資本家は金銀比價の變動より生ずる不慮の損失を恐れ外資輸入の事我邦には余り行はれざりしを以て曩に金貨制に改め此不便を除き之を奨励せり爰に注意すべきは此金利引上げとは如何にして之を爲すやと云ふに英國にては英蘭銀行我邦にては日本銀行の如き中央銀行が其利子歩合を引上げれば隨て自餘一般の銀行は其利子を引上げ即其邦の利子引上げとなるものなり。

右の如く利子歩合を引上げるも猶爲換の不順を救治すると能はざる時には結局我邦の如きは愈止むを得ざるに至れば外債募集の非常手

段を借り以て正貨の輸出を防ぎ相場を低下せしむべきなれども此方策に出でざる前前に述べたる空手形の作用を借り假りに一時外國より借入金となし救済するも亦一法なり此法は一國にて輸出入の時期に偏重ある場合に之れが爲め生ずる爲換の不權衡を補ふに最も効ありそは今横濱に於ける倫敦との貿易景況は春季は輸出より輸入多きを以て横濱に於て倫敦宛手形は騰貴すべし然るに秋季に至れば横濱よりの輸出多くして輸入少し故に倫敦に於て横濱宛手形騰貴すべし今此兩地に於て爲換不順の不便を避けん爲め横濱の銀行は倫敦の銀行と契約を結び春季横濱にて倫敦手形騰貴の時には横濱の銀行より倫敦の銀行へ宛て空に手形を發行して手形の供給を増せば相場をして騰貴の極輸送點に達せしむるとなるべし又秋季倫敦に於て横濱宛の手形騰貴するに當ては倫敦の銀行も亦横濱の銀行へ宛て空手形を發行し之を賣出せば以て相場の騰貴の防ぐとを得べしかくして兩

地に在ては一時輸入の不權衡あるも爲換の不順を來す患を免るべし但し此等空手形の勘定は春季横濱の銀行より倫敦宛に振出せる空手形の總額を帖簿上倫敦銀行への借となし倫敦の銀行にては又之を帖簿上の貸となし置き秋季に至り倫敦の銀行が横濱へ空手形を振出す時之を帖簿上の借となし同じく横濱にては貸となして帖簿上の差引勘定を施すものとす尤も此方法は兩地の貿易時季により輸出入の額に不平均あれど一年を通すれば畧ぼ相平均する場合に効能あるものとす要するに上來説きたる方策は普通手形の需給上より生ずる爲換の不順を救済するものなれども其他貨幣制度の不良より起る爲換の不順を救済するには根本的に貨幣制度其他を矯正確固ならしめざるべからず例へば金銀比價の變動より相場常に大なる不利となるものなれば他と同一の貨幣制に改むるか或は金銀比價の變動が影響を及ぼさざる様に手段を施すに如くはなし又紙幣増發の結果然るものな

れば其紙幣を消却すべし凡そ貨幣の増發は物價の騰貴を來すを以て輸入増加し隨て爲換逆となるは免るべからざる故其増發せる紙幣を消却せば物價低落し隨て輸出増加し一方には金紙の開きも減ずる故相場は低下するに至るべし其他爲換不順の結果若し社界に恐慌を惹起さんとする如き場合に際しては利子引上げ銀行振替の如き迂遠の策は用を爲さず依て直に非常手段に出で止むを得ざれば外國より借入金となすより外なし

外國爲換要解終

明治三十二年一月二日印刷

明治三十二年一月一日發行

外國爲換要解
正價金廿五錢

著者 河田 龜松

發行者 森山 章之 函
東京市神田區通新石町二番地

印刷者 金崎 金平
東京京橋區南鍋町貳丁目八番地

印刷所 博進社 工場
東京市京橋區竹川町十九番地

版權
所有

東京

發兌

關西
賣捌所大

東京市神田區通新石町二番地
(電話本局千五百三十九番)

大阪市東區備後町
四丁目七拾八番地

同文館

吉岡平助

高等商業學校教授 銀行科 水島鐵也先生著 (再版)

銀行及外國爲替

高等商業學校教授 商科 石川 巖先生著 (三版)

重要商品誌

高等商業學校教授 關 一先生著 (再版)

商業經濟大意

慶應義塾大學部 講師 佐々木信夫先生著 (訂正五版)

商業實務誌

東京商業學校講師 永野耕造先生著 (再版)

東洋貿易地理

京都商業學校教授 中野觀象先生著 (再版)

商業算術

大版美本 定價金六十錢

全一册 郵税金八錢

大版美本 定價金四十錢

全一册 郵税金六錢

大版美本 定價金六十錢

全一册 郵税金八錢

合本 定價金七十錢

全一册 郵税金十錢

大版美本 定價金六十錢

全一册 郵税金八錢

大版美本 定價金三十錢

全一册 郵税金四錢

寸珍 定價金廿五錢

全一册 郵税金四錢

全一册 定價金三十錢

中版 定價金三十錢

全一册 郵税金四錢

全一册 定價金三十錢

全一册 郵税金六錢

慶應義塾大學部 講師 佐々木信夫先生編纂

新英和商事會話

慶應義塾大學部 講師 佐々木信夫先生著

商業立志編

從三位勳四等前田正名君題詞

高等商業學校校長 小山健三君序文

商業立身案内

前高等商業學校教官 岡野熊太郎先生著

商業作文書

橫濱商業學校教授 佐々木、村山兩先生合著 (十二月發賣)

新英和商業尺牘

田島啓二先生編纂

條約 改正 新關稅の說明

高等商業學校教授水島鐵也先生著

寸 珍定價金二十錢
全一冊 郵稅金四錢

用 銀行簿記例題

大阪市商業學校教授立花寬藏先生著

(近刊)
クローズ製 定價金六十錢
全一冊 郵稅金十錢

商業算術教科書

クローズ製 定價金八十錢
全一冊 郵稅金十二錢

日本商工歴史

全一冊 近刊

實用商業叢書

(九月より毎月一冊發行)
全十二冊

一冊定價金二十五錢
郵稅金四錢

發兌

關西大
賣捌所

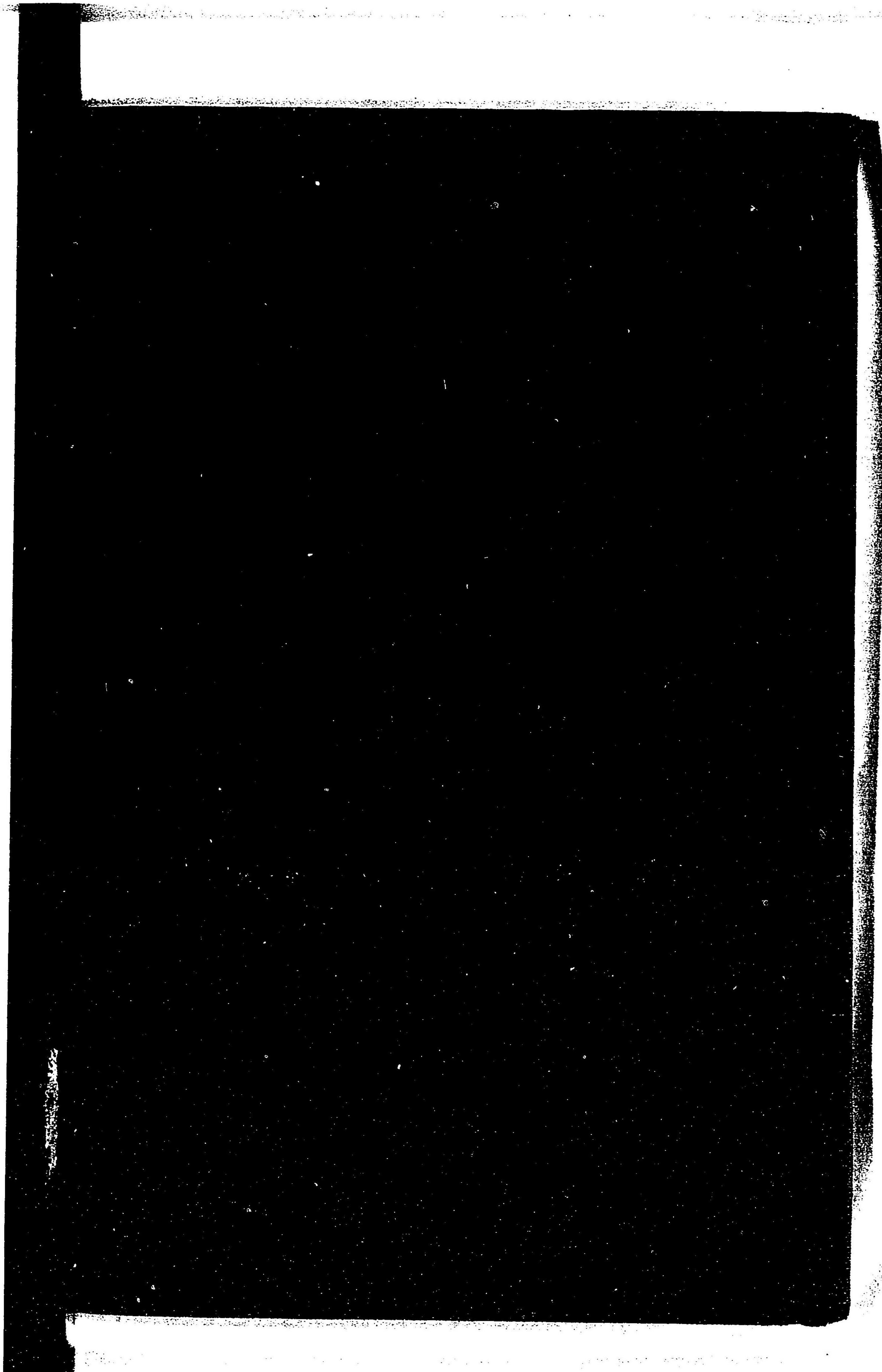
東京市神田區通
新石町二番地

大阪市東區備後町
四丁目七十八番地

同文館
吉岡平助

80

100



80
110

(M)